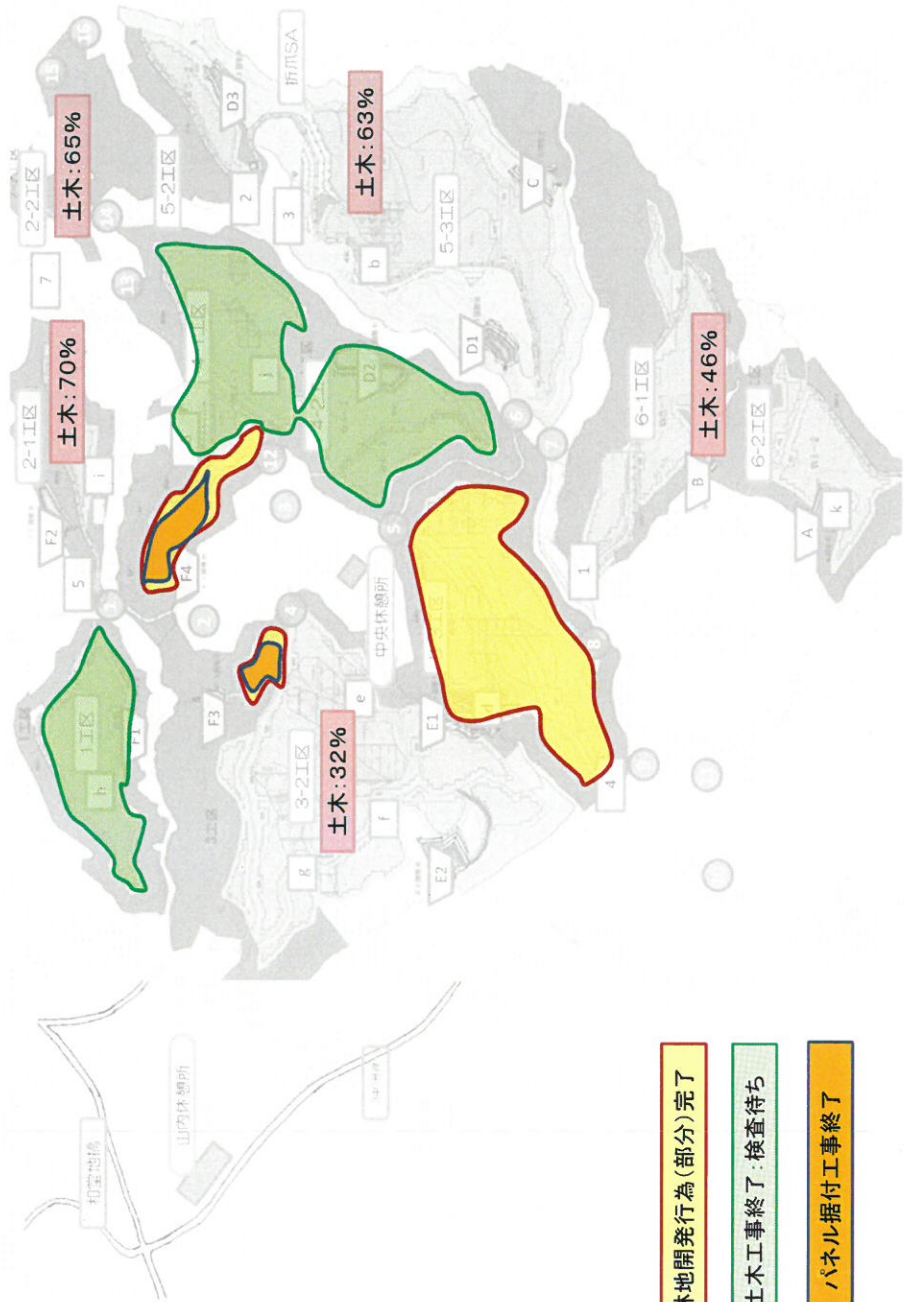


軽米西ソーラー現場状況

2018年3月25日

【工事出来高】

1. 土木工事
 - ①伐採工 : 終了
 - ②造成工 : 75%
 - ③調整池工 : 60% (12ヶ所)
 - ④排水路工 : 72%
 - ⑤道路工 : 65%
 - ⑥フェンス工 : 4%
 - ⑦コンクリート基礎 : 未施工
 - ⑧合計 : 68%
2. 据付工事
 - 合計 : 2%
3. 電気工事
 - 合計 : 15%
4. 総合計 : 45%



林地開発行為(部分)完了
 土木工事終了:検査待ち
 パネル据付工事終了

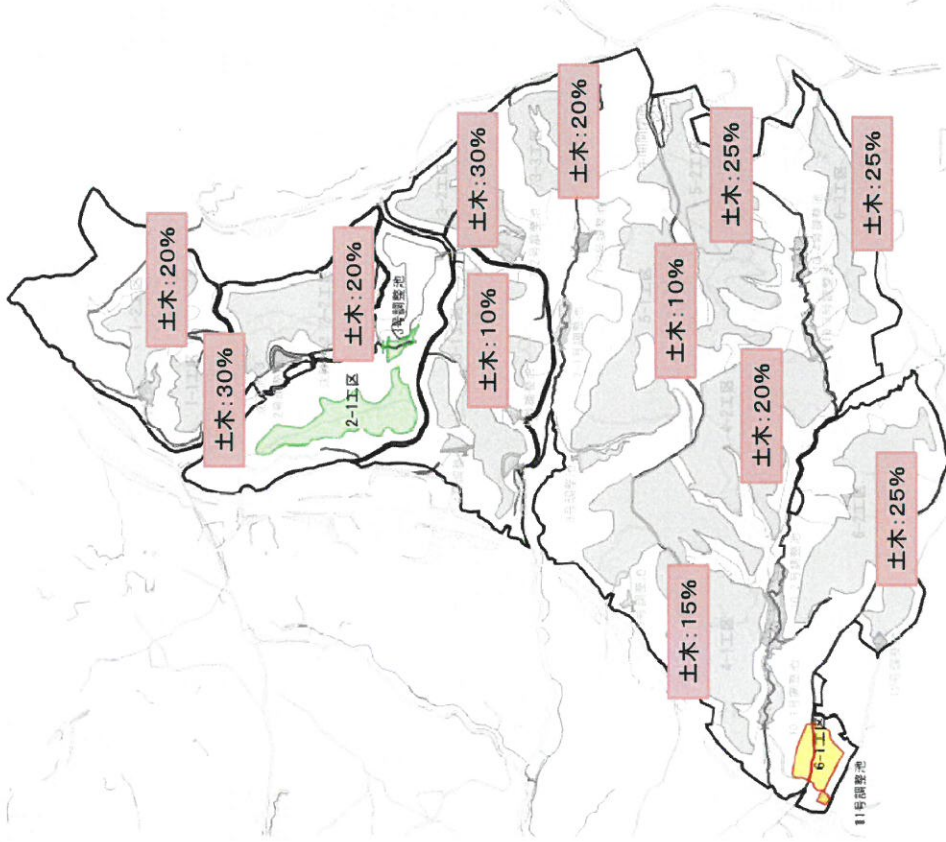
今後の予定	2018年(平成30年)												2019年(平成31年)									
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月						
1. 土木工事																						
①造成・調整池・排水路工事																						
②林地開発行為(部分)完了確認調査(立会)				F1・D2	F2・D1・A	E1(北)	D3・C	B・E2														
③フェンス工事																						
④コンクリート基礎工事																						
2. 据付工事																						
3. 電気工事																						
受電																						
引き渡し																						
動員	220	310	380	430	430	480	430	430	430	270	180	30	30	30	15	10	10					

軽米東ソーラー現場状況

2018年3月25日

【工事出来高】

1. 土木工事	
①伐採工	: 終了
②造成工	: 35%
③調整池工	: 38% (17ヶ所)
④排水路工	: 22%
⑤道路工	: 85%
⑥フェンス工	: 0%
⑦コンクリート基礎	: 未施工
⑧合計	: 45%
2. 据付工事	
合計	: 0.1%
3. 電気工事	
合計	: 0.6%
4. 総合計	14%



- 林地開発行為(部分)
- 土木工事了: 検査
- パネル据付工事了

今後の予定	2018年(平成30年)												2019年(平成31年)									
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
マイルストーン																						
林地開発行為(部分)完了確認検査(立会)		▼					▼	▼	▼	▼									▼受電			▼引渡
1. 土木工事																						
①造成・調整池・排水路工事																						
②フェンス工事																						
③コンクリート基礎工事																						
2. 据付工事(モジュール設置)																						
3. 電気工事																						
動員	150	290	300	350	370	390	390	390	400	390	360	70	70	100	210	130	70	70	60	35	35	35

■ 防災への取り組み

● 調整池の概要・機能

- 堰堤は、鋼製の壁の中に土砂（現地発生材）を詰めて築造します。
- 調整池は、周辺から集まった降雨や1次水槽から溢れた雨を一時的に貯める構造にします（開発面積により容量を設計して決めます）。
- 放流管や1次水槽（オリフィス）を用いることで、放流される水の量を一定に保つことができます。

※調整池堰堤の設置例



上流部より
※調整池方面より



下流部より
※比較的狭小な地形での
設置状況

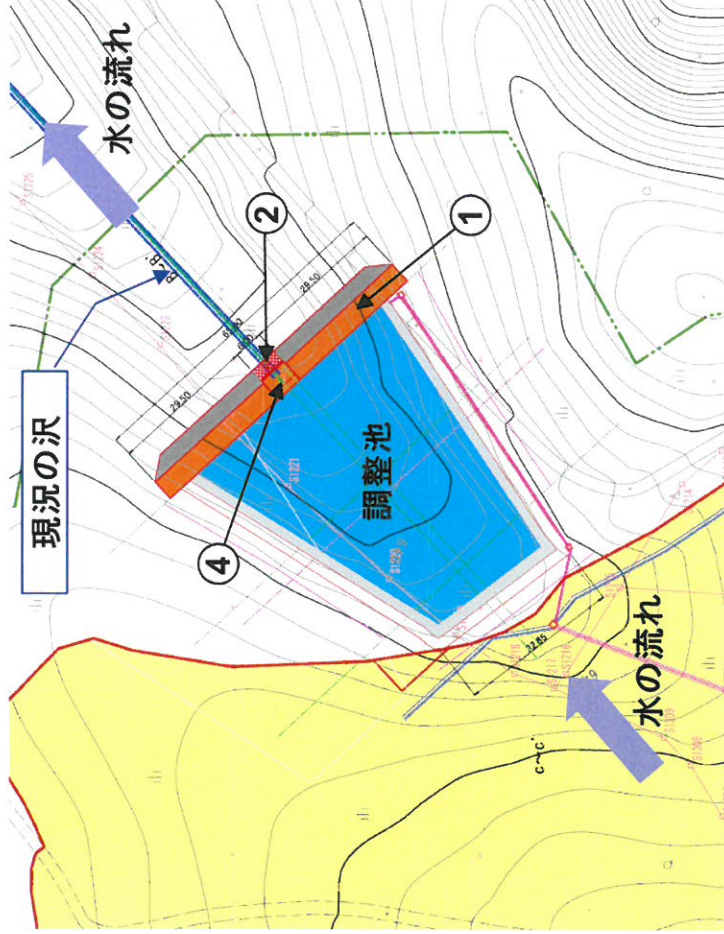


下流部より
※比較的広く緩やかな地形での
設置状況

防災への取り組み

調整池の構造

調整池平面図



①堰堤 : 現地発生材を使用して築造します。

②放流管 : 日常的な降雨はオリフィスを通して、この管を通して下流に流れます。

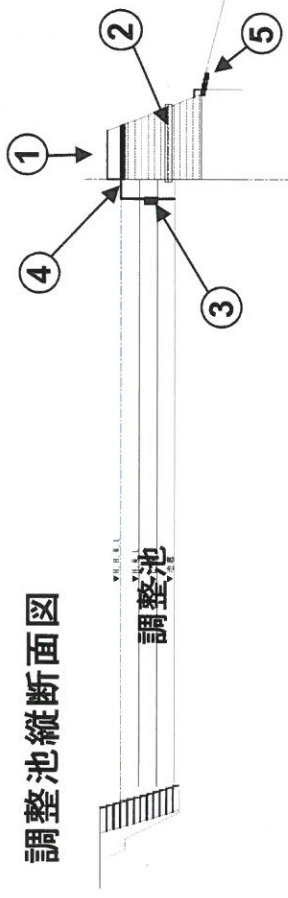
③オリフィス : 30年に1回降るような雨はこの穴をフルに通って流れます。流す量は下流の瀬月内川に流れ込む部分で溢れない量を流します。

④余水吐 : 100年に1回に降る雨量の1.2倍以上の降雨があった場合、天端部から流れます。

⑤フトン籠等 : 放流管から流れた水で現況の沢が洗掘されないようにします。

* 調整池は、底部に土砂を貯める為の容量も確保しています。

調整池縦断面図



■ 防災への取り組み

・ その他の取り組み

● 雨量計・風速計の設置

- 広大な面積であること、異なる流域があることから西／東で複数箇所の測器を設置し、増水時・暴風時の即時対応に備えます（現状近傍に1ヶ所設置）。

● 監視カメラ設置

- 防犯のためだけでなく、全調整池の増水状況をモニタリングできるよう、監視カメラを西に29ヶ所、東に40ヶ所設置します。

● 調整池のメンテナンス

- 一定の土砂堆積率を超えないよう、適宜溜まった土砂の浚渫を行います（重機の搬入経路も確保）。定期点検なパトロールにより躯体の破損・水路詰まり等が確認され次第補修・改善します。

● 森林の保全

- 残置森林維持管理協定に則り策定した森林経営計画に基づき、間伐等を計画的に行い、適正管理に努めます。